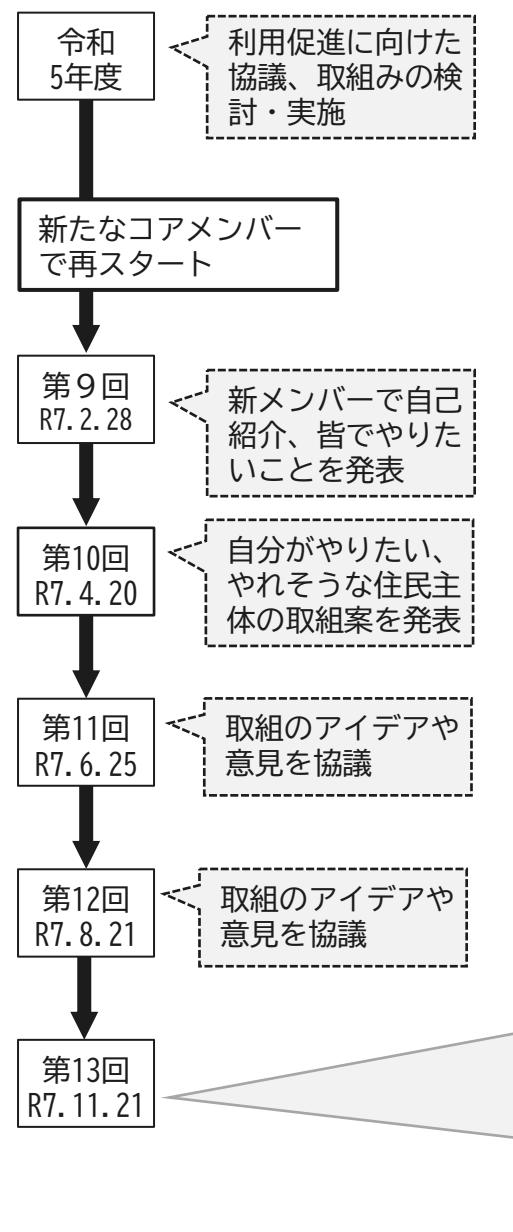


本日のプログラム



報告：三者協議の休止について

■これまでの経緯

令和4年3月に奈良交通から廃止・見直しの提案があったひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線、北田原線について、その運行の継続に向けて地域と奈良交通、生駒市の三者で協議を行う三者協議を順次開催してきました。

三者協議を通じて地域が中心となり、利用促進の取組みを実施してバス利用者が増加傾向となったことが後押しとなり、
令和6年3月に奈良交通と生駒市との間で連携強化に関する協定書を締結しました。これにより、国等の補助制度を活用しながら今後生駒市が奈良交通に対して財政支援をすることで、廃止・見直しの提案があった市内各路線の運行継続が決定しました。

■三者協議の役割・効果

奈良交通からの廃止・見直しに対応するために開催してきた三者協議が果たした役割と効果は以下の通りです。

- ①地域と事業者、行政の三者が一緒になって路線の在り方を考える協議体の実現
- ②路線バスの現状と目標を共有し、地域に広く問題意識を浸透
- ③地域のニーズや意見、要望を吸い上げて協議会に報告し、行政と事業者の施策に反映
- ④地域主体の利用促進策の実行を通じて、地域が支えるマイバス意識を醸成

■三者協議の休止について

廃止・見直しの提案があった市内バス路線の運行継続という、立ち上げ当初の目標が達成され、三者協議における議論でも路線の維持・存続の内容は終息したため、これまで定期的に開催してきた三者協議を休止します。

■今後の方向性

市内バス路線の収支均衡は未だ達成できており、引き続き利用促進の取組みは極めて重要であるため、これまで三者協議を開催してきたバス路線の沿線に限らず、市内バス路線の沿線に入って、地域の住民とともに取り組む利用促進を生駒市として継続していきます。

なお、改めて市内バス路線の廃止・見直し提案が奈良交通からあった場合には、その該当路線の関係地域において三者協議の再開や新たな立ち上げを検討します。

また、今後、地域での活動など、ご相談したいことがありましたら、生駒市担当窓口までご連絡ください。

話し合い①：今後の方向性について話し合います

《テーマ》三者協議の休止以降の利用促進の方向性について

- ・地域や住民として、どういう活動をしていくか？（活動を継続しますか？）
- ・利用促進を進める上で、生駒市からどういう支援が必要か？

Q（今後の方向性について）	A（回答）
休止するとどうなるの？	生駒市が招集する、地域住民・生駒市・奈良交通が参加する定例会議（三者協議）がなくなります。 ただ、利用促進のために、 生駒市が地域住民と一緒に活動を行うことや、生駒市が地域住民の活動を支援することは変わりません。
生駒市と地域住民が話し合う場を開催できる？	開催できます。 ご希望に応じて、地域住民の集まり（例えば自治会役員会）に生駒市が利用促進の活動や報告をしに行くこともできます。
ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況の発信はどうする？	ご希望に応じて、定期的に市HPにアップすることができます。 上記を、自治会回覧用資料として渡すこともできます。
生駒市や奈良交通による利用促進の取組状況は、どうやって知ることができる？	生駒市や奈良交通のHPから確認することができます。 また、生駒市が地域住民の集まりへ行って、 利用促進の取組状況を報告することもできます。 生駒市の公共交通のページ→  奈良交通のお知らせのページ→ 
これまで出した利用促進に関する意見やアイデアはどうなる？	生駒市や奈良交通が主体の取組は、実現可能なものから進めていきます。
相談をしたい場合はどうすればいい？	生駒市の公共交通の窓口（表下に記載）へいつでもご相談ください。 皆さんと一緒に利用促進の取組を進めていきます。
地元が実施するバスの取組や活動について、どんな補助がある？	地域活動応援補助金「まちのわ」があります。 経費の補助だけでなく、市民活動に係る専門家による アドバイスを受けることもできます。 「まちのわ」についての 詳細ページ→ 

話し合い②：関心の高いテーマを選んで、皆で話し合います ※前回の続き

前回は、7つの協議テーマのうち、参加者で話し合った結果、「運賃無料DAYを盛り上げるためのPR方法とは?」「利用者数増加に直接つながる取組案を、三者協議で考えて実行してほしい【市長ミッション】の2つのテーマを話し合いました。

今回は、残りのテーマから関心のあるテーマを選択いただき、皆で話し合います。

※前回関心が高かったテーマは、「寄付を集めるには?」「問題意識をもってもらうためには?」です。

協議テーマ		前回の選択人数	前回の話し合い状況
1	問題意識をもってもらうためには?	5人	
2	寄付を集めるには?	3人	
3	運賃割引による利用促進を図るためには?	2人	
4	●●●向けのバスマップを作成するには?	1人	
5	利用状況を知ってもらうためには?	0人	
6	運賃無料DAYを盛り上げるためのPR方法とは?	2人	話し合い済
7	利用者数増加に直接つながる取組案を、三者協議で考えて実行してほしい【市長ミッション】		話し合い済

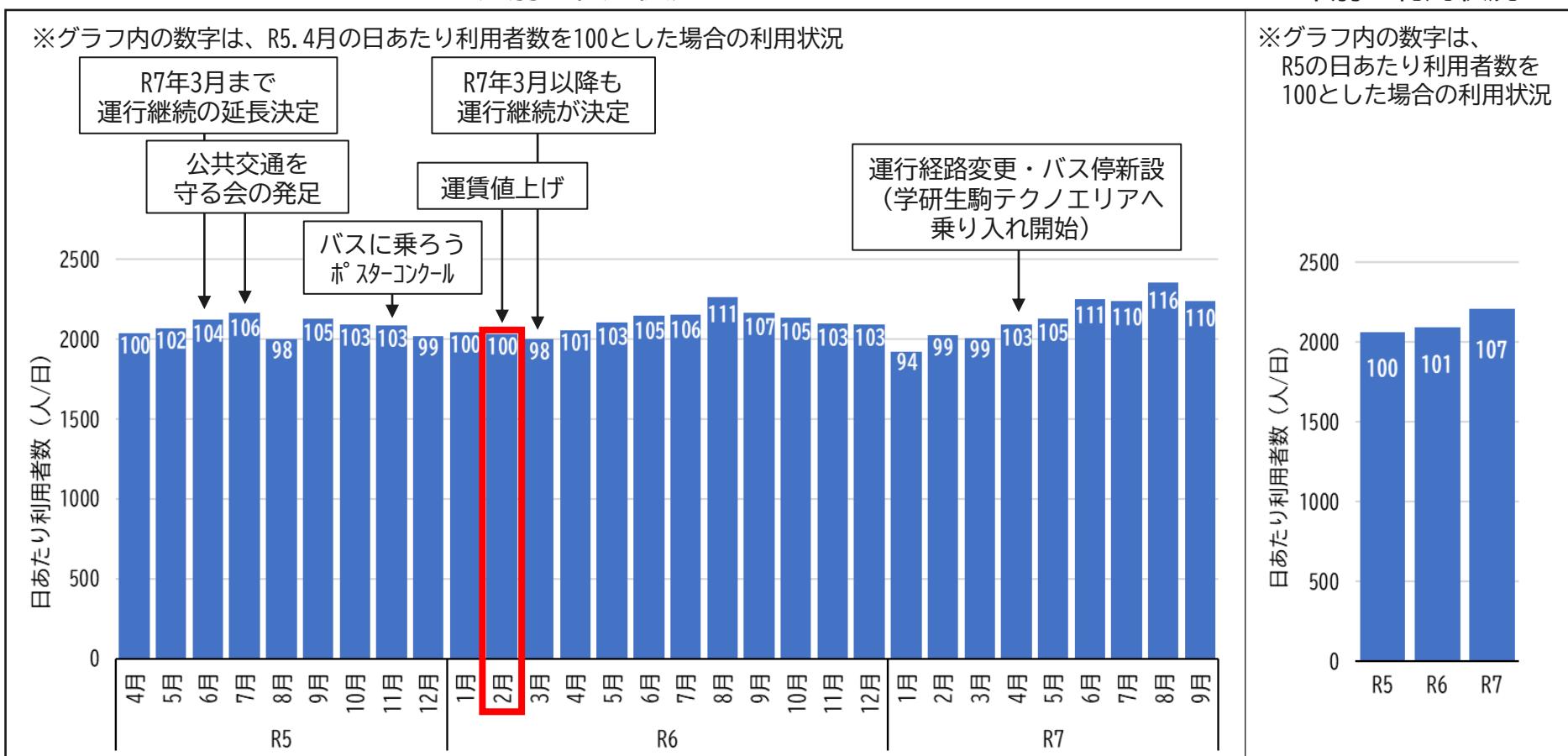
共有①：利用状況の推移

路線全体（平日）

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績）

- 平日について、月別の推移をみると、令和7年の4月以降は、前年や前々年の同月と比べて、利用が増えています。また、年別の推移でみても、令和7年は利用が増えています。

<月別の利用状況>



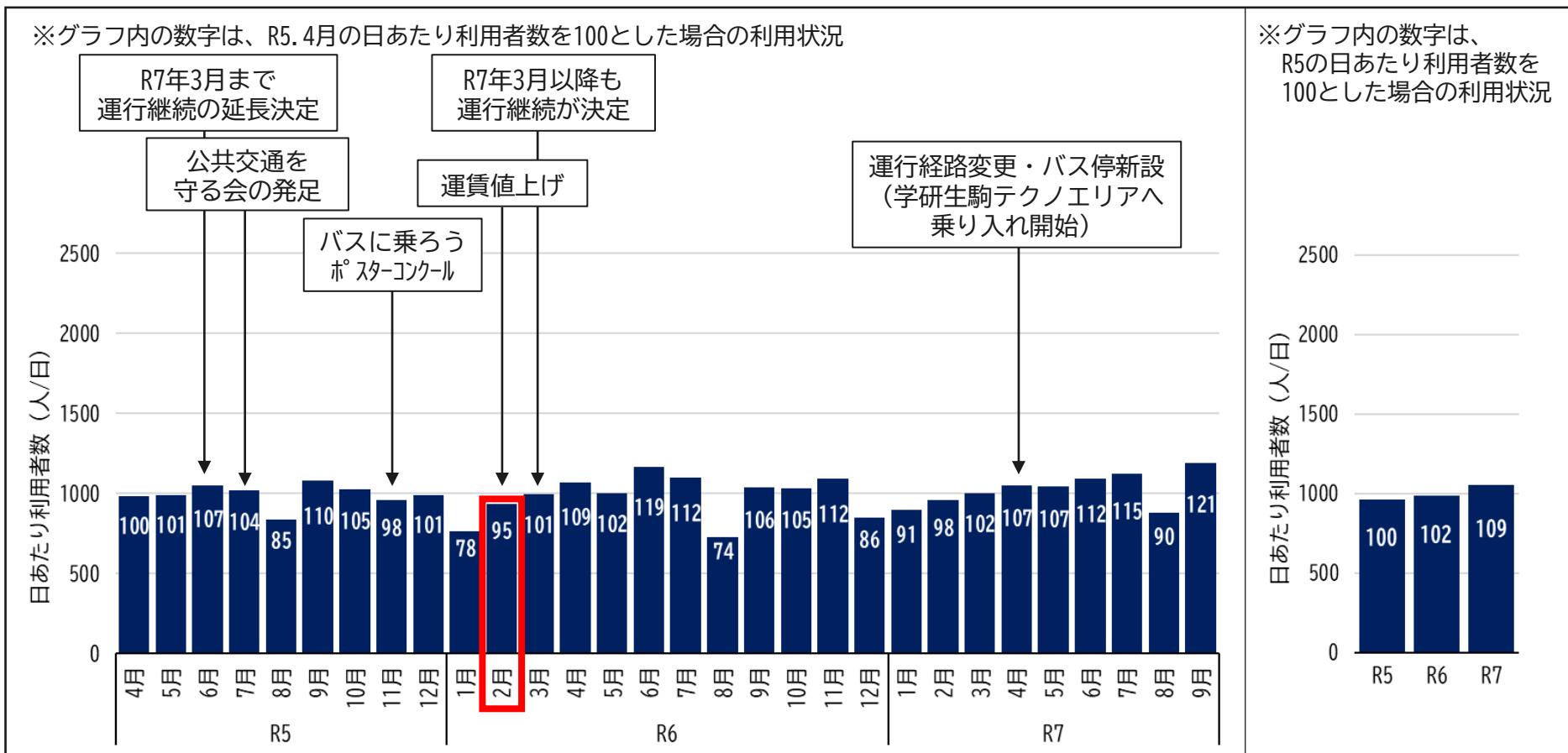
共有①：利用状況の推移

路線全体（休日）

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績）

- 休日について、月別の推移をみると、令和7年の4月以降は、前年や前々年の同月と比べて、利用が多い傾向にあります。また、年別の推移でみても、令和7年の利用が増えています。

<月別の利用状況>

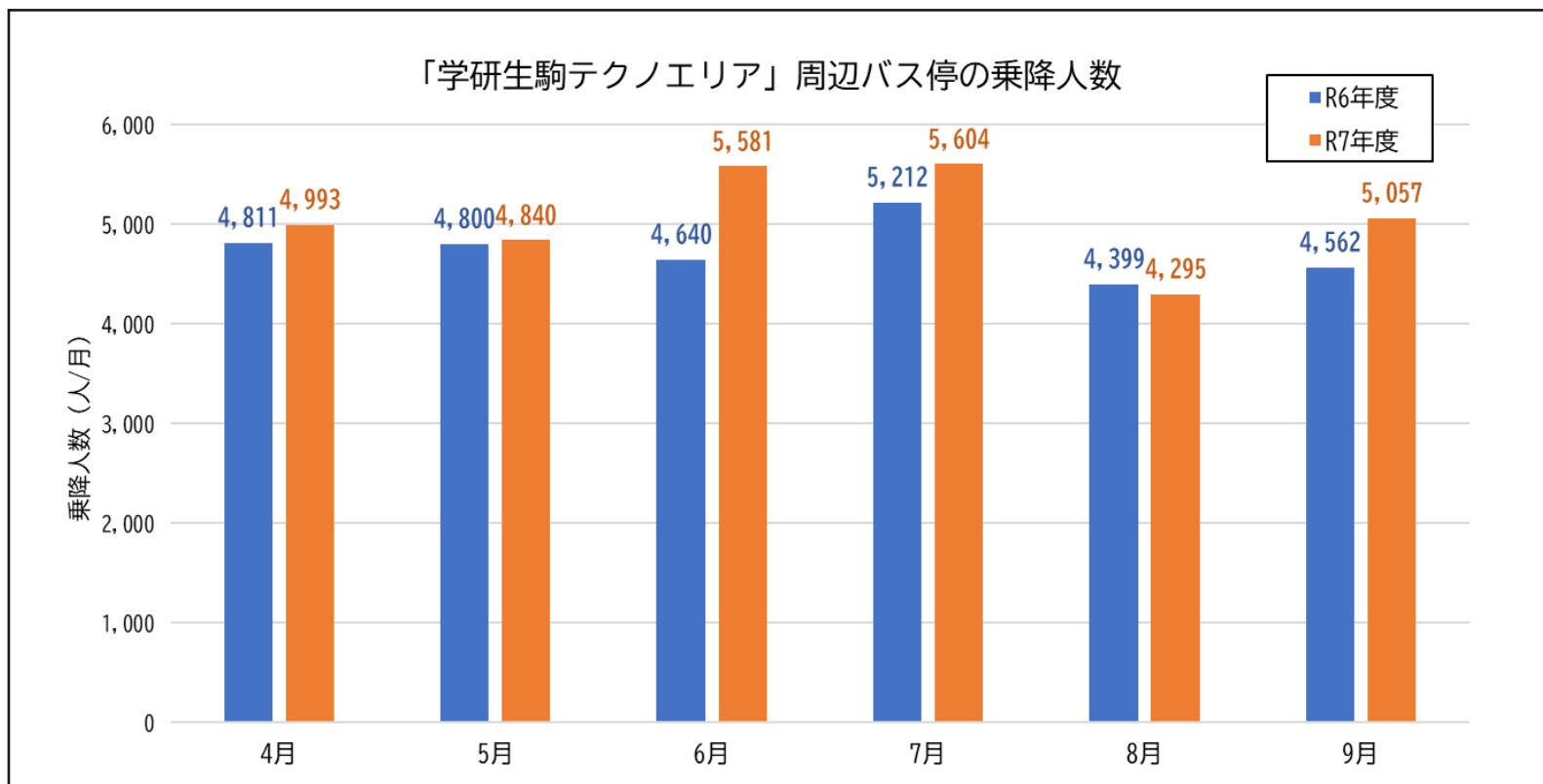


共有①：利用状況の推移

学研生駒テクノエリア（平日）

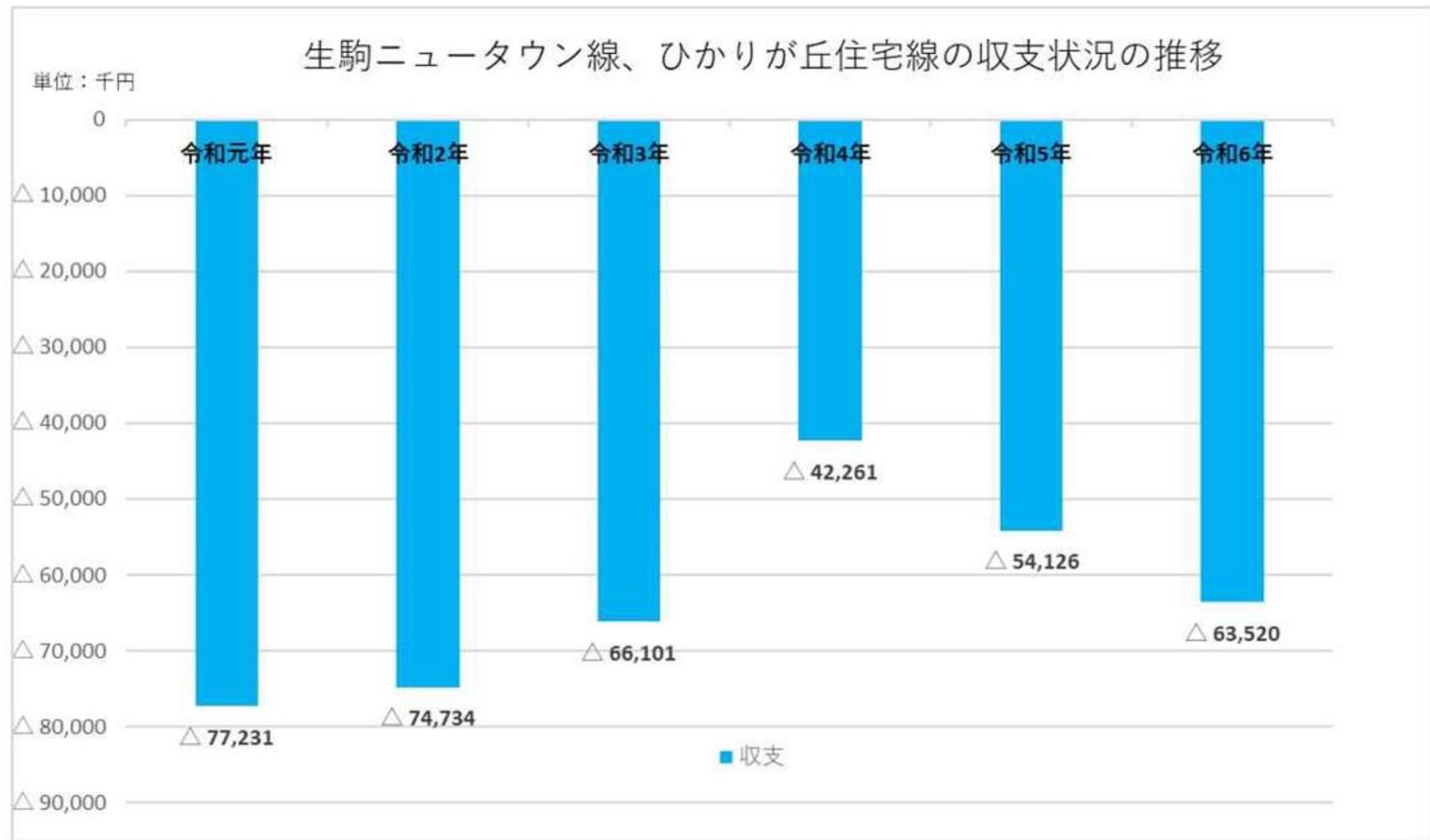
■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況推移（ICカード実績）

- 令和7年4月より、ひかりが丘住宅線の運行経路を変更及びバス停を新設し、学研生駒テクノエリアへの乗り入れ開始しました。
- 学研生駒テクノエリアの周辺バス停（学研生駒テクノエリア・イモ山・ひかりが丘住宅口の合計）の平日の乗降人数をみると、前年同月と比べて、利用が増えています。
⇒学研生駒テクノエリアで働く従業員が通勤利用しているため



共有②：収支状況の推移

■ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の収支状況の推移 (R1～R6年)



共有②：収支状況の推移

■奈良交通（株）路線バス 生駒市内路線収支状況一覧表（R1～R6年度実績）

No.	路線名	関係市町村	R1年度実績							R2年度実績								
			経常収益 A (千円)	経常経費 B (千円)	損益 C=A-B (千円)	収支率 A/B (%)	補助金・委託料等 D (千円)	交付元	補助金込損益 C+D (千円)	うち生駒市 (千円)	経常収益 A (千円)	経常経費 B (千円)	損益 C=A-B (千円)	収支率 A/B (%)	補助金・委託料等 D (千円)	交付元	補助金込損益 C+D (千円)	うち生駒市 (千円)
1	高の原高山	奈良市、木津川市、精華町	18,105	34,420	△ 16,315	52.6	1,731	国	△ 14,584	△ 7,380	15,336	33,265	△ 17,929	46.1	3,312	国	△ 14,617	△ 7,397
2	富雄庄田	奈良市	47,332	90,400	△ 43,068	52.4	9,677	国、生駒市	△ 33,391	△ 22,895	40,302	87,858	△ 47,556	45.9	16,216	国、生駒市	△ 31,341	△ 21,493
3	ひかりが丘住宅		80,271	126,476	△ 46,205	63.5			△ 46,205	△ 46,205	75,178	122,583	△ 47,405	61.3			△ 47,405	△ 47,405
4	生駒ニュータウン		74,031	105,057	△ 31,026	70.5			△ 31,026	△ 31,026	56,000	83,329	△ 27,329	67.2			△ 27,329	△ 27,329
5	北田原		40,677	60,970	△ 20,293	66.7			△ 20,293	△ 20,293	40,018	56,264	△ 16,246	71.1			△ 16,246	△ 16,246
その他 12路線			1,627,708	1,565,686	62,022	104.0			62,022	21,940	1,312,571	1,296,173	16,398	101.3			16,398	13,536
合計			1,888,124	1,983,009	△ 94,885	95.2	11,408		△ 83,477	△ 105,859	1,539,405	1,679,472	△ 140,067	91.7	19,528		△ 120,540	△ 106,334

No.	路線名	関係市町村	R3年度実績							R4年度実績									
			経常収益 A (千円)	経常経費 B (千円)	損益 C=A-B (千円)	収支率 A/B (%)	補助金・委託料等 D (千円)	交付元	補助金込損益 C+D (千円)	うち生駒市 (千円)	経常収益 A (千円)	経常経費 B (千円)	損益 C=A-B (千円)	収支率 A/B (%)	補助金・委託料等 D (千円)	交付元	補助金込損益 C+D (千円)	うち生駒市 (千円)	
1	高の原高山	奈良市、木津川市、精華町	15,017	33,859	△ 18,842	44.4	1,778	国	△ 17,064	△ 8,635	19,930	37,102	△ 17,172	53.7	1,946	国	△ 15,226	△ 7,705	
2	富雄庄田	奈良市	35,942	87,976	△ 52,034	40.9	10,019	国、生駒市	△ 42,015	△ 29,330	46,283	96,096	△ 49,813	48.2	8,212	国、生駒市	△ 41,601	△ 29,371	
3	ひかりが丘住宅		74,673	118,032	△ 43,359	63.3			△ 43,359	△ 43,359	80,096	109,129	△ 29,033	73.4			△ 29,033	△ 29,033	
4	生駒ニュータウン		52,950	75,692	△ 22,742	70.0			△ 22,742	△ 22,742	53,657	66,885	△ 13,228	80.2			△ 13,228	△ 13,228	
5	北田原		39,522	56,429	△ 16,907	70.0			△ 16,907	△ 16,907	43,824	61,082	△ 17,258	71.7			△ 17,258	△ 17,258	
その他 12路線			1,305,034	1,254,391	50,643	104.0			50,643	30,091	1,451,387	1,310,435	140,952	110.8			140,952	61,851	
合計			1,523,138	1,626,379	△ 103,241	93.7	11,797		△ 91,444	△ 90,882	1,695,177	1,680,729	14,448	100.9	10,158		24,606	△ 34,744	

No.	路線名	関係市町村	R5年度実績							R6年度実績									
			経常収益 A (千円)	経常経費 B (千円)	損益 C=A-B (千円)	収支率 A/B (%)	補助金・委託料等 D (千円)	交付元	補助金込損益 C+D (千円)	うち生駒市 (千円)	経常収益 A (千円)	経常経費 B (千円)	損益 C=A-B (千円)	収支率 A/B (%)	補助金・委託料等 D (千円)	交付元	補助金込損益 C+D (千円)	うち生駒市 (千円)	
1	高の原高山	奈良市、木津川市、精華町	9,172	20,197	△ 11,025	45.4	1,701	国	△ 9,324	△ 4,705	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	富雄庄田	奈良市	46,096	103,875	△ 57,779	44.4	8,949	国、生駒市	△ 48,830	△ 34,580	51,094	114,550	△ 63,456	44.6	8,901	国、生駒市	△ 54,555	△ 38,744	
3	ひかりが丘住宅		81,784	118,142	△ 36,358	69.2			△ 36,358	△ 36,358	87,277	131,077	△ 43,800	66.6			△ 43,800	△ 43,800	
4	生駒ニュータウン		54,991	72,759	△ 17,768	75.6			△ 17,768	△ 17,768	60,470	80,190	△ 19,720	75.4			△ 19,720	△ 19,720	
5	北田原		44,522	66,135	△ 21,613	67.3			△ 21,613	△ 21,613	47,543	72,979	△ 25,436	65.1			△ 25,436	△ 25,436	
その他 13路線			1,535,019	1,443,983	91,036	106.3			91,036	31,183	1,710,923	1,611,777	99,146	106.2			99,146	28,046	
合計			1,771,584	1,825,091	△ 53,507	97.1	10,650		△ 42,857	△ 83,841	1,957,307	2,010,573	△ 53,266	97.4	8,901		△ 44,365	△ 99,654	

利用促進の取組状況報告

4.2 IKOMA サマーセミナー2025「おでかけマップでよこみち歩き疑似体験」【8月31日】

- ・8月31日に開催された「IKOMA サマーセミナー2025」において、エコネットいこまと市が共同で「おでかけマップでよこみち歩き疑似体験」の講座を開催。
- ・6名の方が参加し、市内の路線バス現状と利用促進の取組み状況を共有し、「北田原線沿線おでかけマップ」を配布した上で、グループワークを通じて生駒駅の南側(本町地区)のおでかけマップ案を作成。
- ・当日作成した案を元に完成した
「本町地区おでかけマップ」は市HPにて公開中。



当日の様子
市HP「本町地区おでかけマップ」



4.3 いきいき百歳体操@あすか野南集会所での利用促進ちらし配布【9月25日】

- ・ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の三者協議を通じて作成した、バスを使ったおでかけプランちらしを配布し、9月25日のあすか野南集会所のいきいき百歳体操において参加者へバス利用のよびかけを行った。



当日の様子

4.4 転入者向けに「いこま公共交通マップ」配布開始【10月1日】

- ・令和6年度から作成に取り掛かり、10月1日の富雄庄田線の路線見直しを反映して完成した「いこま公共交通マップ」について、市民課にて転入者向けに配布を開始した。また、防犯交通対策課窓口や市内公共施設等でも同様に配布する。

5. 今年度の取組み

5.1 バス運賃無料DAYの開催日決定

- ・バス運賃無料DAYの開催日が令和7年2月1日(日)に決定しました。当日は「ららまつり」「くらしのブンカサイ」の開催日にもなっています。

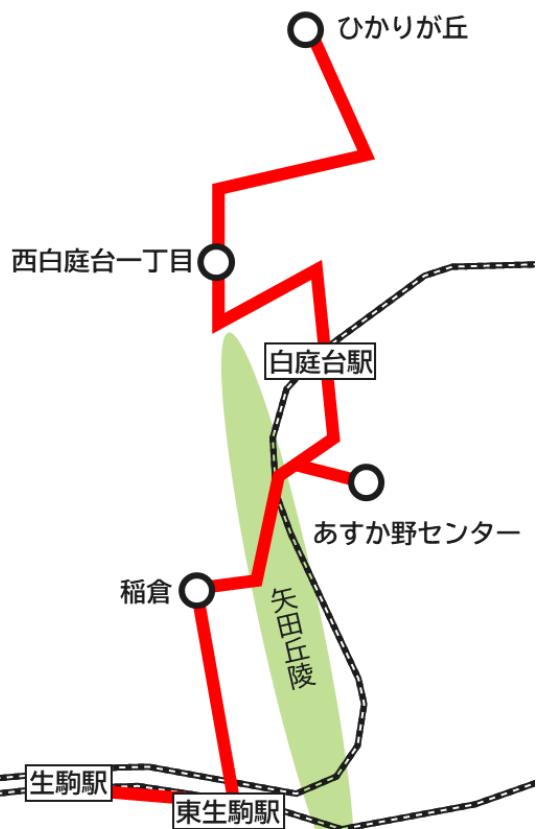
※令和7年度第2回生駒市地域公共交通活性化協議会 資料3-1より抜粋

バスでおでかけしてみよう！

ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線三者協議



ひかりが丘住宅線・
生駒ニュータウン線



バスの赤字は約3千万円

皆さんの地域を運行するひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線（左の図の路線）を含めた**市内の路線バスは、約3千万円の赤字**（令和4年度）となっています。今後市が支援することで、ひとまず今の運行を続けることは決まっていますが、バスに乗る人が少ないままでは、**近いうちにまた運行を続けることが難しくなるかもしれません。**

三者協議を開催中！

バスの利用者を増やすため、みなさんと事業者、市が一緒になって、利用促進に取り組む**三者協議を定期的に開催**しています。誰でも参加できるので、ぜひ一緒に取り組みませんか？

詳しくはこちら ➤



年に1回バスに乗るだけで

赤字が約3千万円と聞くと手の届かない数字に聞こえますが、実は**みなさん1人1人が、年に1回、今よりも多くバスに乗る**だけで赤字は消え、今後も地域のバスを維持していくことができる計算になります！



バス運賃 250円
(生駒駅～新生駒台北口)
生駒市民 約12万人
→250円×12万人=3千万円

バスでおでかけしてみよう！

地域のバスをなくさないため、友人とのお茶やランチ、ちょっとしたお買い物に、バスでおでかけしませんか？

三者協議の取組みとして、バスを使ったおでかけコースを考えたので、ぜひご利用ください！

おでかけコース
のご提案

裏面へ ➤

3つのあでかけコースのご提案

あすか野南集会所：木曜10:00～

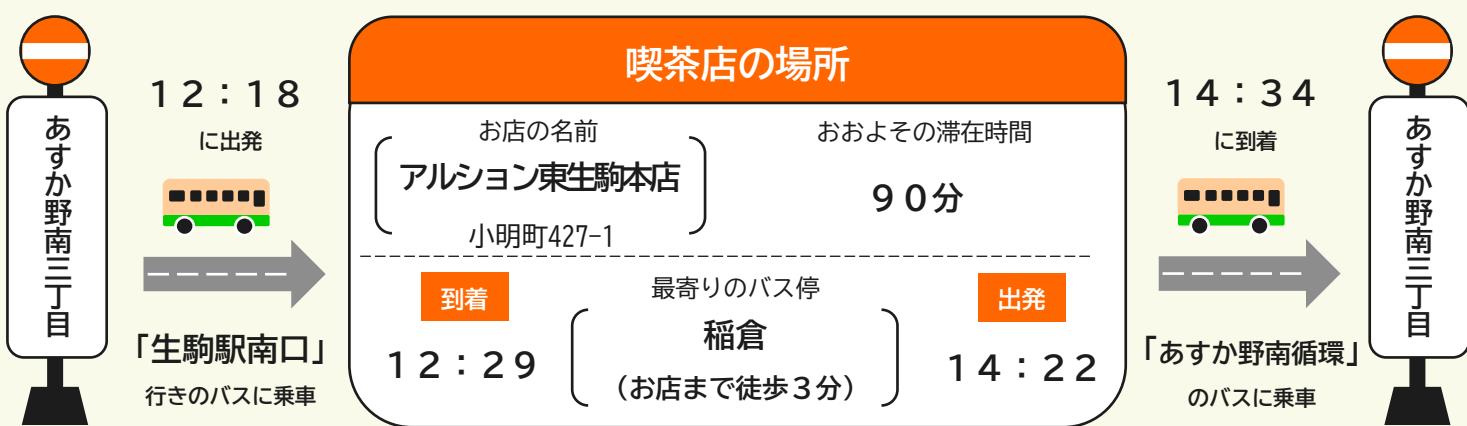
『ランチを食べに行く』プラン

大きめナンが美味しいインド・ネパール料理のお店
ルンビニで百歳体操の後に楽しくランチ！



『喫茶店でおしゃべり』プラン

サンドイッチや紅茶を楽しめるカントリー風ベーカリー
アルション東生駒本店で楽しくおしゃべり！



『お買い物を楽しむ』プラン

注文してから焼く、大和のみたらし団子が有名
吉屋でお買い物！

